

令和3年06月25日

有限会社オйкаワデニム  
代表取締役社長 嘉屋 雄大 さま

特定非営利活動法人  
沖縄人財クラスタ研究会  
代表理事 白井 旬

「(仮称)中小企業のための持続可能な組織づくりとSDGs経営」出版に伴う  
「SHIRO 0819」「メカジキジーンズ」等の取組み取材および掲載のお願い

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当法人の業務につきまして格別のご高配を賜り深く御礼申し上げます。

当法人では、2018年4月に中小企業における効果的な人材育成や組織開発の考え方をまとめた「生産性を高める職場の基礎代謝～社員の「不」を解消し、能力を引き出すヒント」(著:白井 旬/合同フォレスト)を出版し、おかげさまで4刷・1万部となるなど、多くの方々のご支援・ご賛同をいただいております。

また、職場の基礎代謝®をマネジメントレベルまで体系化した「職場の基礎代謝®改善ファンリテーター養成講座」については、中小企業経営者・人事担当者・士業・コンサルタントの方々を中心にご受講をいただき、現在、日本全国に100名を超える同士が誕生しております。

2019年10月には、職場の基礎代謝®(不の解消マネジメント)をベースとした「中小企業のためのSDGsビジネス・スタートアップ・パッケージ」をリリースし、50社を超える中小企業の「持続可能な組織づくりとSDGs経営」の実装をご支援させていただいております。

この度、そのノウハウや日本全国の中小企業のみなさまのSDGsに関する取組みをまとめた本「(仮称)中小企業のための持続可能な組織づくりとSDGs経営」を2021年9～10月予定で出版することとなり、現在、先進的な事例をお持ちの企業さまの取材を重ねております。

そこで、沖縄ドリプラ2013(東北復興支援プログラム NeverForget3・11)にてご来沖いただき、翌年度、会社訪問をさせていただき、ご縁を頂戴しました貴社の様々な持続可能な取組み「SHIRO 0819」「メカジキジーンズ」等について、是非とも取材をさせていただき、全国のみなさまに広くお伝えしたいと考えております。(株式会社臼福本店・臼井社長は取材済みです)

詳細につきましては、2枚目以降をご確認いただき、是非とも取材・掲載のご協力のほどよろしくお願いたします。

敬具

**【連絡先】**

特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会  
代表理事 白井 旬

住所：沖縄県那覇市松尾 1-19-27

ミルコ那覇ビル 4階

メール：junshirai73@yahoo.co.jp

<取材依頼内容>

- 1ー有限会社オйкаワデニムさまの現在に至るまでの経緯(オリジナルブランドで下請けからの脱却)
- 2ーオリジナルブランド「スタジオゼロ」開発の苦労やメイドインジャパンとしての海外展開について
- 3ー震災時の民間第一号避難所、4/4の工場再開(同時のハローワークの無制限求人)について
- 4ー震災後に立ち上げたデニム地のバッグや小物の自社ブランド「SHIRO 0819」について
- 5ー2015年に発売した「メカジキジーンズ」(メカジキの吻を使った新素材の開発や環境に配慮した製法)
- 6ーオйкаワデニムにおける人材育成や組織活性化のポイント および 今後の展開
- 7ーファッション業界における持続可能性(SDGs含む)についての必要性と可能性について

<取材依頼時期>

2021年6月26日(土)～7月24(土)に、Zoomにて60分～90分程度

◆6月24日現在の当法人の調整可能日時

- ー6月26日(土)10時00分～16時00分
- ー6月27日(日)10時00分～16時00分
- ー6月30日(水)18時00分～21時00分
- ー7月02日(金)19時00分～21時00分
- ー7月05日(月)09時00分～18時00分
- ー7月06日(火)09時00分～18時00分
- ー7月07日(水)09時00分～12時00分
- ー7月13日(火)17時30分～20時00分
- ー7月14日(水)17時30分～20時00分
- ー7月16日(金)09時00分～12時00分
- ー7月23日(金)09時00分～18時00分
- ー7月24日(土)09時00分～14時00分

<参考資料>

2020年10月01日時点での出版企画書を添付します(次頁から5ページ分)。オйкаワデニムさまについては、第2章～第5章のいずれかで掲載させていただければと考えております。

## <出版企画書>

# (仮) 地域の中小企業がSDGsを取り入れることで 持続可能な組織づくりと社会課題の解決を実現するための本

### ◆企画概要

国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)を、大企業とは異なる視点・目的・目標をもって、中小企業が取り入れ、成功するためのノウハウを体系化。地域の中小企業事例を多数。

今、日本各地では、毎日のようにSDGsに関連するカードゲームやワークショップが開催されています。

また、大学などの教育機関や民間団体によるSDGs関連のコンサルタント資格制度なども数多く存在し、表面上は、SDGsが普及してきているように見受けられます。

しかしながら、その実態は、「カードゲームは面白かったけど・・・」「事例が海外や大企業のものばかり・・・」「重要だとは思うけど当社では・・・」といった意見が多く、特に、中小企業での取り組みが進んでいません。

これは、日本の企業数全体の99.7%(人数ベースでは69%)を占める中小企業の活力を存分に活かすことができていると考えられ、まち・ひと・しごと創成(地方創成)にも少なからず影響が出ています。

この中小企業において「SDGsの取り組みが進まない」主な理由として挙げられるのが以下の3つです。

(理由1)SDGs(社会課題の解決)をCSR(社会貢献活動)の延長として捉えてしまっている。
--

→人もお金も余裕がある大企業が取り組むもの。地域の清掃活動などをSDGsと勘違い。
---

(理由2) 貧困の撲滅や地球の温暖化防止といった遠くて大きなコトとして捉えてしまっている。
---

→地球全体や世界全体のことは国連や政府が取り組むもの。17Goalsが独り歩きをしている。
---

(理由3) 社長が経済団体で聞いてきた流行りもの(一過性のもの)として捉えてしまっている。
---

→社長のお決まりパターンで現場の私たちには関係ないもの。社長の熱が冷めるのを待っている。
--

これらの理由(≡ボタンの掛け違い)を解消し、地域の中小企業がSDGsを経営に活かしていくためのポイントは、SDGs(持続可能な開発目標)ではなく、「持続可能な○○○」と「不の解消を○○○」です。

地域の中小企業にとっては当たり前の考え方である「三方よし」「利他の精神」「論語と算盤」は、まさしく「社員の定着(≡持続可能性)」「顧客のリピート(≡持続可能性)」「事業の継続(≡持続可能性)」に通じるもので、SDGsは古くて新しい考え方ともいえます。

そして、「不の解消」を自社に向ければ「持続可能な組織づくり」につながり、「不の解消」を社会に向ければ「SDGs(本業で社会課題の解決)」につながります。そして、「不の解消」というテーマで社内外を循環させることこそ、地域の中小企業におけるSDGs導入・成功のカギとなるのです。

## ◆企画者プロフィール 白井 旬（しらい じゅん）「職場の基礎代謝®」専門家

-SDGs ビジネスコンサルタント（一般社団法人SDGs支援機構 認定）

-2030SDGs カードゲーム公認ファシリテーター（一般社団法人イマココラボ）

-SDGs Outside-in カードゲーム公認ファシリテーター（株式会社オークジャパン）



沖縄県雇用政策課広報番組「働きがいTVパート5」(令和元年2～3月の8週連続土曜日放映・平均視聴率 8%)では、番組コメンテーターとして、中小企業における SDGs 導入のポイントを解説。



視聴用 QR コード

SDGs 解説は 21:18～

1995年に旅行会社のエイチ・アイ・エスへ入社。2001年にIT企業のビー・フリーソフトに転職し、沖縄支店長を務める。その後、会社が倒産するなかで「職場の活性化」について考えるようになり、人材育成と組織開発を本格化させ、2012年に特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会の代表理事となる。

現在は、慶應義塾大学・特任教授 高橋 俊介 氏と連携した「人材育成企業認証制度（通称一働きがい企業認証制度）」、経営者や人事担当者向け「人材育成推進者養成講座」などを企画・実施。【職場の基礎代謝®】を上げるという基本の考え方をベースに、「アンガーマネジメント」「LSP」「ドリプラ」「SDGs」等、全国のべ 30,000 人以上の人材育成研修や組織活性化コンサルティングに携わる。

2018年4月に発刊した「生産性を高める職場の基礎代謝～社員の「不」を解消し能力を引き出すヒント」は発売1ヶ月で増刷、4ヶ月で3刷となるだけでなく、八重洲ブックセンターの週間ベストセラー（2018年4月15日～21日）ランキング経済部門で1位を獲得するなど人気を博し、現在も売れ続けている。

2019年10月からは、「不の解消マネジメント」を基本としながら、国連が定める SDGs（持続可能な開発目標）を企業経営と持続可能な組織づくりに活かすコンサルティングを開始し、全国約 50 社に対しての SDGs の導入・定着・自走の支援をしている。

また、2020年08月からは、「SDGs カード関連資格」や「SDGs コンサルタント関連資格」を取得したものの中小企業への導入提案が進まないコンサルタントや講師業、地域密着型の社会保険労務士・税理士・行政書士などに対して、「SDGs を組織開発の視点で導入・推進・発展させる「SDGs 経営&持続可能な組織づくり推進リーダー養成講座」を開設し、受講生から中小企業への SDGs 導入決定の連絡が続いている。

## ◆企画の要点

### (1) CSR（社会貢献活動）と SDGs（社会課題の解決）の違い

社会貢献活動は 会社がやっていること（社員の参画意識が小→持続不能な組織）  
 社会課題の解決は 自分たちが行うこと（社員の参画意識が大→持続可能な組織）

### (2) 大企業における導入ポイント と 中小企業における導入ポイント の違い

大企業は 経企・広報・人事・CSR部門中心／世界全体・海外展開・大掛り・事業づくり  
 中小企業は 全社員（特に若手社員）を中心／日本国内・地域密着・小回り・組織づくり

### (3) 内向きの「不の解消」と 外向きの「不の解消」

内向きの「不の解消」は 持続可能な組織づくり（社内の不を解消する）自社組織の開発  
 外向きの「不の解消」は 持続可能な開発目標（社会の不を解消する）社会課題の解決

## ◆「不の解消」を基本に据えた循環モデル「社内」の不を解消 ⇔ 「社会」の不を解消



## SDGs と CSR の違い

**SDGs (Sustainable Development Goals)**

→持続可能な開発目標／本業で社会課題を解決

**CSR (Corporate Social Responsibility)**

→企業の社会的責任／社会貢献の意味合いが強い

**CSR の延長線上で SDGs ではなく  
SDGs の中に CSR が含まれていると捉える**

## SDGs の捉え方(意識をする)

**SDGs (Sustainable Development Goals)**

**持続可能な**

**開発目標**

自分の子や孫の世代に  
大きな負担をかけずに

私たち現役世代が  
望ましい発展を継続する

## ◆目次(案)

### 第1章－誤解だらけのSDGs(持続可能な開発目標)

- ・SDGsは 極度の貧困や地球温暖化問題だけではない
- ・SDGsは 国連や政府や大企業だけが担うのではない
- ・SDGsは ボランティアや社会貢献の側面だけではない
- ・SDGsは ひとりひとりの行動に委ねられるだけではない
- ・SDGsは 17のアイコンに書かれている内容だけではない

### 第2章－中小企業にとっての「SDGs」とは？

- ・三方よし、利他の精神、論語と算盤 で考える
- ・新型コロナ、大型台風、ゲリラ豪雨と経済活動
- ・誰ひとり取り残さないは 自社の社員や家族から
- ・SDGs を意識する→自分の子や孫の世代のこと
- ・SDGs を分解する→持続可能な組織・顧客・事業
- ・SDGs を仕立直し→経営理念・社員像・行動指針

### 第3章－「不の解消」を起点に持続可能性を考える

- ・内向きの「不の解消」は 持続可能な組織づくり
- ・横向きの「不の解消」は 顧客づくりと仲間集め
- ・外向きの「不の解消」は 社会課題の解決(事業)
- ・フォーキャスティング(Can から Do へ) と バックキャスティング(Be から Can へ)
- ・インサイドアウト(Can から Do へ) と アウトサイドイン(Be から Can へ)

### 第4章－中小企業の導入事例(SDGs の活用)

- ・三承工業(岐阜県)女性活躍→働き方改革→SDGs の順番
- ・九州パンケーキ(宮崎県)入試問題にもなった「地産地消で九州を元気に」
- ・三大食品(沖縄県)ライバル企業と共同配送＝配送時間&ガソリン代&Co2 の削減
- ・宮田運輸(大阪府)子供の絵のラッピングトラックで交通事故が40%減
- ・アロンアロン(千葉県)胡蝶蘭の職人を育成し、B型就労の就職率を50%以上に
- ・(仮)四万十ドラマ(高知県)ローカル・ローテク・ローインパクトで四万十の魅力を最大化

### 第5章－中小企業の課題&可能性と17Goalsの関係

- ・働き方改革、女性活躍、外国人雇用の視点で考える
- ・相互扶助、地域密着、モットイナイの視点で考える
- ・強み&弱みの活用、パートナーシップの視点で考える
- ・SDGs の次なる世界(2031年以降)の視点で考える

